

ポット育苗大苗を用いたカキ「秋王」の 早期樹冠拡大技術

苗木・花き部

1 背景、目的

本県で育成した甘ガキ新品種「秋王」は、大果で食味が優れる種がほとんど入りにくい品種であり、産地への導入が進められています。しかし、カキは植え傷みが激しいため早期の樹冠拡大が難しく、収量が高くなるまでに年数を要します。

そこで、ほ場定植後の早期成園化を図るため、植え傷みの少ない2年生大苗を植え付け、樹冠の拡大を早める技術を開発しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 生育が優れる2年生大苗は、1年生苗を気相率が高い用土を用いてポットに植え付け、無加温ハウスで1年間育苗することで育成できます(表1)。育苗用土はピートモスを容積で半量程配合した気相率40%前後のものを用い、ポットは容積25L程度で使用済みの肥料袋等を用いると資材コストを低減できます。
- 2) 育苗場所は、雨よけ施設内が望ましいですが、露地の場合は防風対策を施します。用土が乾きやすいため、育苗中は1回3L程度を目安に春、秋は1回/日、夏は2回/日かん水します。施肥量は、1樹当たりの年間窒素施用量でポット育苗時に6g、ほ場定植1年目に20g、2年目に30g程度を目安とします。
- 3) ポット育苗の2年生大苗を定植すると、植え傷みがなく、1年生苗をそのまま定植するよりも定植後の生育が優れ、樹冠が大きくなります(表2、図1)。定植2年後には新梢数、総新梢長、樹冠面積が1年生苗をほ場に植えた場合の2倍程度となり、樹冠拡大が早まります(表2、4年生樹)。

3 主要なデータ・画像など

表1 カキ「秋王」育苗土の土壌物理性と育苗法別の生育（平成23年）

試験区			土壌の三相分布(%)			主幹径 (mm)	新梢数 (本)	新梢長(cm)		
育苗 場所	育苗 方法	用土の種類	固相	液相	気相			最大	平均	合計
ハウス	ポット	赤土ピートモス	19.7	41.3	39.0	20.6	11	75	22	245
〃	〃	コーネルピートライトミックス	6.6	51.2	42.2	19.0	7	65	28	199
露地	1年生苗定植(ほ場土壌)		35.1	35.6	29.3	14.8	6	17	11	63

- 注) 1. 赤土ピートモスは赤土・ピートモス・ホラ土を4:4:2（容積比）、コーネルピートライトミックスはパーミキュライト・ピートモスを1:1で配合。ほ場土壌は中粗粒黄色土、砂壤土。
2. 調査は2年生樹（ポット育苗、1年生苗定植1年後）、平成23年11月実施。



2年生ポット大苗（植え付け1年目）



1年生苗定植（植え付け2年目）

図1 カキ「秋王」ポット育成大苗の本ぽ定植後の生育状況（3年生樹）

表2 カキ「秋王」の育苗法と定植後の生育（平成24～25年）

育苗方法	3年生樹			4年生樹			
	主幹径	新梢数	総新梢	主幹径	新梢数	総新梢	樹冠面 積(m ²)
	(mm)	(本)	長(cm)	(mm)	(本)	長(cm)	
ポット育苗	32.7	34	823	51.7	76	2,443	4.5
1年生苗ほ場定植	25.4	24	452	37.5	42	1,193	1.8

- 注) 調査は3年生樹（ポット育苗、1年生苗定植2年後）は平成24年11月、4年生樹が25年12月に実施。